

平成 16 年度
事業報告書

平成 17 年 5 月 26 日
社会福祉法人
陽光福祉会

平成16年度 社会福祉法人陽光福社会一太陽の子保育園の事業報告を、
次の通りまとめましたのでご報告申し上げます。

社会福祉法人 陽光福社会

理事長 大庭 正宏



はじめに

早いもので、前園長亡き後無我夢中で取り組んできた園長としての仕事も1年半を迎え、やっと1年のサイクル全体が把握でき、園長職に対して落ち着いて取り組めるようになってきたと思う。

さて、今年平成16年度を振り返ってみると、

- 4月: 老人施設(グリーン東京)への施設訪問が、施設側からの希望に応え毎月1回行われることとなり、その第1回目の訪問がこの4月に行われ、子どもとお年寄りとの楽しい交流スタート
- 5月: 親子遠足を羽村堰下レクリエーション広場で開催。大成功の行事となり、親子ともども大喜びの感想が多かった。
- 6月: 生ゴミ処理機(ゴミサー)を購入設置。環境への配慮のため、緊急購入となったが、効果良好
- 7月: 第4回SUNSUNまつりを盛大に開催。今年から、青梅市長渚の囃子連のご協力により、今までなかったお囃子が加わり、更に子どもたち(パンダ、くま、ライオンの各組1つづつ)手作りの「おみこし」も製作し、大いに盛り上がった夏祭りとなった。
- 8月: 事業計画で示した2F事務所の増設工事を実施して、1階事務所の有効スペースを広げて、懸案であった「医務室」としての場所が確保でき、体調不良の子どもへの配慮が改善した
- 9月: 上記の2F事務所の増設工事に伴う、電話・FAXの設置、栄養管理のためのパソコン機器の設置等を実施。なお、床面積拡張(851.81㎡→860.54㎡で8.73㎡の拡張)による法人定款の変更が必要であり、そのための準備も進める。→平成17年4月26日定款変更認可受領
- 10月: 第4回運動会を10月9日(土)に開催する予定が、雨天のため1週間の延期となり10月16日の開催となった。延期は初めてのことであったが、混乱も無く楽しい運動会ができた。尚、保育園すぐ近くに借りている畑での第1回目の「芋掘り」をすることが出来(坂本理事のご協力に感謝)、初めてのお芋掘りに子どもたちの興奮した笑顔が、とっても印象的であった。
- 11月: 2年に1回開催の「西保連保育研究大会」が開催されたが、太陽の子保育園の中田千江子保育士が、「自閉症児の保育」の実践報告を行った。保育園開園時に入園したT君への3年間に亘っての中田先生の奮闘ぶりが参加者の共感を呼び素晴らしい発表となった。
- 12月: 12月5日(日)開催の法人理事会で、全員の理事・監事が第3期目(6年間)への役員就任を承諾していただいた。
第4回目の開催となるサン太おたのしみ会を開催。今年から従来の「音楽祭」を一旦閉めて、「おたのしみ会」と名称変更し太鼓の「たまっ子座」の演奏をお願いした。子ども向きの演奏で、参加した親子共々絶賛の反響で、次回もう一度聴きたいとの多くの声が聞こえた
- 1月: 業務マニュアルの作成を進めるべく、リーダーを中心に「マニュアル推進委員会」を設置して、当面緊急度の高いものを第1次作成目標分として定め、分担して作成に取り組んだ。
その結果、日常業務=6件、危機管理=2件、事故対応=1件、日課=3件、行事=1件、運営管理=2件の計15件のマニュアル(70シートと手順書の組み合わせ)が作成出来た。
作成したマニュアルは、見やすいようクリアブックに入れて、各部署に配置して有効活用されるようにした。まだまだ沢山作成すべきマニュアルがあり、今後も推進していく。
- 2月: 西保連の統合部会で、発達障害の相談にのってもらっている澤井 晴乃先生の講演&相談会を当保育園で開催し、発達障害児に対する保育のあり方について、全職員の理解を深めるための研修を行った。非常に有意義な研修会であり、次年度ももう1回開催を検討したい。
- 3月: 陽光福祉会 太陽の子保育園の「経営理念」を策定すべく検討し、3月30日の理事会に提案して確定した。職員会議で全職員に経営理念をよく理解して、日々の職務における行動規範とするよう要請するとともに、園舎内の要所に「経営理念」を掲示して、保護者等に開示した。

経営理念

「共感・調和・貢献」

- ・子どもの心を大切に子どもの感性を育てる、よき保育者による「共感」の保育
- ・子どもの幸せを第一義に、保護者への子育て支援に全力で応援する「調和」の保育
- ・次世代育成・支援に対する地域の重要な拠点として、保育を通して地域社会に「貢献」する

法人関係

①役員会会議

- ・5月22日(土) 監事による監査
- ・5月22日(土) 第1回定例理事会
 - ・平成15年度決算報告書(案)承認の件
 - ・平成15年度事業報告書(案)承認の件
- ・7月29日(木) 第2回定例理事会
 - ・経理規程及び就業規則の一部改定について
 - ・公用車の設置について
 - ・サンサンまつりの実施報告
- ・12月5日(日) 第3回定例理事会
 - ・役員改選の件
 - ・理事長互選の件
 - ・定款の一部変更承認の件
 - ・平成16年度第一次資金収支予算書補正案承認の件
- ・3月30日(水) 第4回定例理事会
 - ・平成16年度第2次補正予算書(案)承認の件
 - ・平成17年度資金収支予算書(案)承認の件
 - ・平成17年度事業計画書(案)承認の件

②施設整備について

- (1) 2F事務所増設工事について・・・平成16年度の事業計画で提示した増設工事を8月に終え、9月に机、電話・FAXおよび情報機器の設置工事を行い完了した。これにより、1階事務所の有効面積が広がり、懸案であった「医務室」としての場所が確保できた。2F事務所の床面積は8.73㎡であり、園舎全体の床面積は851.81㎡→860.54㎡となり定款変更が必要となったが、12月5日の理事会で承認後東京都に定款変更認可申請を行い、平成17年4月26日付で認可書を受領した。
- (2) 園庭への「お砂場」の設置・・・色々と考え工事業者にも相談したが、現状の園庭の広さで無理があるとの結論に達し、断念した。ただし、園庭全体に撒いてある粗めの砂の量を多くして補充し、せめてもの対応とした。
- (3) 2F一時保育室と1Fうさぎ組の入替・・・上記の2F事務所の増設工事があったこともあり、これについては平成17年度に再度検討することとした。
- (4) 事業計画に載せていない小整備として、①駐車場の1台当たりの駐車スペースを明示するための白線引き、②廊下手摺りの増設工事、③雨により腐食した0歳児と1歳児の靴箱を撤去して、樹脂製の雨に強い靴箱を購入・設置 など

職員関係

①職員構成と職務分担

事業計画で示した「職員構成と職務分担(園児の暮らす編成)」に記載されている職員名のうち、

- ①小林美津代(産休対応1年契約のパート保育士)は、事情により採用前に本人辞退した。
- ②中出貴之(午後4時からの特例パート)は、学校の関係で4月30日付で退職した。
- ③市橋伸江は、6月/初から平成17年3月末まで産休&育休の予定であったが、育児に専念したいとの希望から、1月31日付で退職した。
- ④中野美穂子(ペンギン組担任)は、平成17年5月13日の出産予定であったが、切迫流産のため平成17年1月18日入院し、そのまま仕事には出られず出産後育児休業のため、平成18年3月末まで休み
- ⑤矢治麻由美(一時保育担任)は、8月28日に結婚し吉田麻由美となったが、平成17年7月20日の出産予定日であったのが、同じく切迫流産のため平成17年2月13日入院となり、中野と

同じく、平成18年3月末まで休み

注:④、⑤の二人は、当初産前休暇に入るのが平成17年度と予定していたため、1月と2月で相次いで入院→休業となり、問題の発生を防ぐべく手を打ったが、保護者には大変なご心配を掛けてしまった。

以上が、退職又は入院した職員であるが、上記の動きに対応して新たに採用した職員は、次の通りである。

1) 村野美佳 平成16年6月1日付で4:00～の延長保育対応パート保育士補助として採用

2) 桑谷知子 平成16年9月8日付で常勤パート保育士(青梅市のかすみ台保育園で6年間勤務した実績のある保育士)として採用し、0歳児(ひよこ組)担任として着任

3) 田村修子 平成16年9月15日付で、4:00～の延長保育対応パート保育士補助として採用

注:平成17年4月1日付採用で、平成17年度の事業計画の範囲になるが、緊急入院への対応として、常勤パート保育士(田切美穂子で羽村まつの木保育園で長く経験のあるベテラン保育士)を採用すべく準備を進めた。

②職員会議の予定と、職員の健康管理 これについては、ほぼ計画通りに開催し実行した。

③研修について 詳細は、研修報告書に記載されているので、ここでは概略を記す

・5月 「感性を育てる保育」西保連総会講演(高橋史郎先生) 12名参加
特定給食施設 栄養管理講習会
(三保連)春の園長研修会
「福祉サービス第三者評価」羽村私保協職員研修会 10名参加
新人研修(小沼 肇先生) 平成16年度採用の新人職員 1名

・6月 事業者のためのサービス評価学習会
栄養管理者講習会
労働基準法に関する講習会
西保連給食部会 調理実習

・9月 社会福祉事業従事者 人権研修
「食育」について(安藤節子先生)
会計研修会
福祉経営塾ベーシックコース分野別<経営ビジョン>

・10月 福祉経営塾ベーシックコース分野別<財務>
西保連統合保育研修会(澤井 晴乃先生)
ちょっと気になる子どもの理解と対応(澤井 晴乃先生)

・11月 法人独自の人事・給与制度構築
おとなは子どもに何を伝えられるか(男女共同参画)
障害を持つ子どもとの歩み
西保連保育研究大会(3部会ごとの研究成果発表) 20名参加

・12月 感染症研修会

・1月 栄養管理講習会「日本人の栄養摂取量」
養育家庭・ひとつの家庭になって

・2月 澤井 晴乃先生を囲んでの研修会 ほぼ全職員参加

・3月 第三者評価をどう活かすか
三保連研修 個人情報等の園長研修会

以上 平成16年度の、研修実績です。

児童処遇関係

①園児のクラス編成

- ・適正であった。ただ、1歳児のペンギン組が、リーダーの小川美穂が5月から8月にかけて産休をとった。同じクラス担任の中野美穂子が1月に切迫流産で急遽の入院・欠勤となってしまったため、保護者に心配を掛けてしまった。

②児童の健康管理

- ・計画どおり実施。感染症などの異常な発生等も無く、特に大きな問題なし。

③給食実施

- ・内容的には、指導方針どおり実施した。給食内容向上のため、クラス担任と厨房の担当者間で話し合いを持ち、残菜が少しでも少なくなるようにするための協力を確認し合った。また、献立内容についての意見交換を行い、担任の意見も献立に反映させられるように検討し、なお、子どもたちが、作ることや食べることをもっと身近に感じるようになれるよう、来年度は一緒に食事をする時間を増やしたい。
- ・栄養業務としては、季節感のある材料やメニュー、行事食、残菜表での嗜好の把握を考慮し、食品構成をもとに栄養価の過不足がないよう献立作成を行っており、なるべく手作りを心掛けている。
- ・衛生面については、検便の毎月実施、0-157対策、等やるべきことは抜けの無い様キチット行ってきた。施設設備面でもゴミサーの設置をはじめ棚の設置、修理の早めの実施等で向上した。
- ・食育(調理保育等)については、今年度は調理保育としてはあまり実施できなかったが、新たに芋掘りが園行事としてできるようになり、園全体で貴重な経験ができる良い場だと思う。芋を使った調理保育も出来た。これからも継続して育てられる食物などを作っていきたい。子どもたちが食べ物や、それを作ることに興味を持ち、食事の大切さ、楽しさを感じられよう栽培や調理などを通して教えていきたい。

④保育

- ・年間行事計画については、運動会の日程が雨天のため、10月9日の予定が一週間延期の10月16日にずれ込んだこと以外は計画どおり。
- ・行事については、3ページの「はじめに」で、ほとんどふれているので省略する。
- ・老人施設「グリーン東京」へのライオン組さんの訪問が、毎月一回となったが、お年寄りの皆さんが喜ぶ顔は、本当に子どもの力というしかないと思う。
お年寄りとのコミュニケーションをとるのが上手な子、苦手な子、またお年寄りの方も元気で子どもに上手に接してくれる人、難しい人とさまざまであるが、年長の子どもたちにとってお年寄りの優しさにふれる経験は、大変有意義なものになっている。
- ・「はじめに」でもふれたが、西保連の保育研究大会の統合部会の発表で、当園で長い間、障害児担当で苦勞してきた中田千江子先生の実践報告が、他園の保育士に大きな感動を与える素晴らしい発表となったことは、大変嬉しく良かったと思う。

災害対策 (計画通り実施)

- ・平成16年度の避難訓練の実施記録簿は、別にあり
- ・防災設備等の保守点検実施記録は、別の記録簿に記載
- ・非常用品購入は次の3点である
1) 防災用品収納用物置 2) 災害時用防滴形メガホン 3) 非常用アルミ製折りたたみリヤカー

保護者との関係 (計画通り実施)

- ・保育懇談会は0歳児(ひよこ組)について、6月12日(土)保護者全員が参加して実施した。クラス担任5名と栄養士(離乳食について)、看護師が出席しているいろんな面からの説明、質疑応答、などなど活発な意見を交わしての、有意義な懇談会となった。
- ・ひよこ組以外は、クラス一斉の懇談会は行わず、個人面談を実施。年間をかけて、各クラス別に子どもの状況などを勘案して面談日程を決めて行った。

- ・苦情解決体制では、現任の苦情処理に関する第三者評価委員二人が今年度末で任期が切れることから、3月14日付で外山和子委員、3月30日付で中園文子委員の再任(2年間の任期)の承諾をいただいた。
- ・なお、苦情受付では、今年度初めから休日保育の昼食を取り止め、家庭からのお弁当を持参していただくように変更(休日保育の利用者が少なく赤字大のため)したが、これについての利用者に対する連絡の遅れと周知徹底のまずさ(口頭の連絡で文書によるものでなかった)があり、利用している保護者から苦情があった。
- 保護者のご夫婦と園長、副園長の4人で話し合い、事情の詳細な説明と連絡の遅れと周知徹底のまずさについてのお詫びをして、じっくりと話し合い、理解をしていただいた。
- ・尚、周知徹底では、遅ればせながら5月1日付で「休日保育利用時の昼食の取扱い変更について(お願い)」の文書を作成して、休日保育利用の全家庭に緊急配布して徹底した。…その後は特に問題も無く、お弁当持参してもらっている。

地域社会との関係

- ・ほぼ計画どおり実施した。地域住民の方々の行事参加により、保育園の地域での役割を少しでもご理解していただけたと思っている。

特別保育事業の実施状況について

1) 延長保育(18:00~20:00までの2時間延長)利用人数の推移…1日あたり平均利用人数

	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度
1H延長	10人	15人	7人	7人
2H延長	11人	12人	14人	11人
合計	21人	27人	21人	18人

- ・平成16年度の1日当たりの平均利用者数が合計で18人と20人を切ってしまった。補助金のランクが、20人以上と未満では大きく違うため、16年度の補助金は従来に比較して、約150万円の減額となった。

2) 一時保育(休日を除く月曜日~金曜日の8:30~5:00)利用人数の推移…月当たり平均人数

	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度
半日保育	両方で	52人	40人	23人
一日保育	74人	99人	118人	112人
合計	74人	150人	158人	135人

- ・平成14・15年に比べ、20人の減少となっている。原因はハッキリしないが、近くのたつの子保育園でも一時保育事業を行っているので、当方も利用者獲得に頑張らなくてはと思う。

3) 休日保育(日曜日・祝日)利用人数の推移…月当たりの延べ利用人数

	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度
休日保育	26人	27人	27人	23人

- ・平成16年度から昼食を各家庭からのお弁当に切り替えていただいたが、休日1日当たりの利用人数は4.5人/日である。休日保育の実施園は、羽村では当園のみであり絶対的な利用者が少ないと思われる。昨年の事業報告書にも書いたが、園としての負担が大きすぎるということで羽村市児童課に申し入れているが、回答はなし。

4) 地域子育て支援センター事業の実施状況について

- ・利用人数は毎月102人平均である。育児不安等の相談件数も毎月平均17件あって担当保育士が丁寧に対応している。若干サークルへの参加希望者が減少してきているが、サークル活動の支援も全力で取り組んでおり、地域の子育て家庭に対し大きな力となっていると思っている。